

# ExpressUpdate Agent

# インストレーションマニュアル

Document Rev.2.10

## 目次

表紙	
目次	
商標に	ついて
本書に	ついて
第1章	ExpressUpdate Agent について5
第2章	動作環境6
第3章	ExpressUpdate Agentのインストール
3.1	ExpressUpdate Agent $\mathcal{O} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} I$
	3.1.1 インストールを始める前に
	3.1.2 インストールメニューの起動
	3.1.3 ExpressUpdate Agentのインストール
3.2	ExpressUpdate Agent $\mathcal{OPV}$ $\mathcal{P}$ $\mathcal{P}$ (Windows)
	3.2.1 アンインストールを始める前に12
	3.2.2 ExpressUpdate Agentのアンインストール
3.3	ExpressUpdate Agent $\mathcal{O} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I}$ (Linux)
	3.3.1 インストールを始める前に13
	3.3.2         インストーラのコピーと展開         13
	3.3.3 ExpressUpdate Agentのインストール14
3.4	ExpressUpdate Agent $\mathcal{OPV} \mathcal{IV} \mathcal{I} \mathcal{I}$ Linux)
	3.4.1 アンインストールを始める前に
	3.4.2 ExpressUpdate Agentのアンインストール
第4章	注意事項16
4.1	インストールについて16
4.2	OSのIPを変更した場合について16
4.3	Windowsファイアウォールについて
4.4	Linuxファイアウォールについて17
4.5	管理対象装置のサーバマネージメントドライバについて
4.6	Windowsデータ実行防止機能(DEP)について18

ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル

#### 商標について

ExpressUpdate は日本電気株式会社の登録商標です。EXPRESSBUILDER と ESMPRO、ExpressPicnic、 CLUSTERPRO、EXPRESSSCOPE は日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の 国における登録商標または商標です。Intel、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。Xeon は米国 Intel Corporation の商標です。Linux は Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録 商標または商標です。Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における登録 商標または登録商標です。MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株 式会社が使用権許諾を受けている登録商標です。Asianux は、ミラクル・リナックス株式会社の日 本における登録商標です。Adobe 、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシ ステムズ社)の登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または 登録商標です。

Windows7 は、Windows® 7 Stater、Windows® 7 Home Basic、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise、Windows® 7 Ultimate の略称です。Windows Server 2008 R2 は、 Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard operating system、および Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise operating system の略称です。Windows Server 2008 は、Microsoft® Windows Server® 2008 Standard operating system, Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise operating system, Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 32-Bit operating system、および Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 32-Bit operating system の略称です。Windows Vista は、Windows Vista® Business、 Windows Vista® Home Basic, Windows Vista® Home Premium, Windows Vista® Enterprise, Windows Vista® Ultimate の略称です。Windows Server 2003 x64 Editions は Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition operating system および Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating system または、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard x64 Edition operating system および Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>®</sup> 2003 Enterprise x64 Edition operating system の略称です。 Windows Server 2003 は Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition operating system およ び Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition operating system または、Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition operatingsystem の略称です。Windows XPは、Windows® XP Professional x64 Edition operating system および Windows® XP Professional operating system、Windows® XP Home Edition operating system の略称です。

本製品には、OpenSLP から無償で配布されている SLP(Service Location Protocol)、Apache Software Foundation から無償で配布されている Apache Axis2、Apache Rampart、および Jean-loup Gailly と Mark Adler から無償で配布されている zlib を含んでいます。これらの製品については、それぞれの 使用許諾に同意した上で本製品をご利用願います。著作権、所有権、免責事項の詳細については以 下のファイルを参照してください。

Apache : /eu\_agent/doc/ApacheLicense\_v2.txt, ApacheNotice.txt

SLP : /eu\_agent/doc/OpenSLP\_license.txt

zlib : /eu\_agent/doc/zlib\_license.txt

#### ■ ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど お気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

### 本書について

本書では、「ExpressUpdate Agent」のインストール手順について説明しています。 ExpressUpdate Agent をご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお使いになるようお願い 申し上げます。

#### ■ ご注意

本書での内容は、対象 OS の機能や操作方法およびネットワークの機能や設定方法について十分に 理解されている方を対象に説明しています。対象 OS に関する操作や不明点については、各 OS の オンラインヘルプなどを参照してください。

本書では、管理対象装置全般について、汎用的に説明しています。管理対象装置の製品別の注意事 項や制限事項は、管理対象装置に添付されているユーザーズガイドまたは「ESMPRO/ServerManager Ver5 セットアップガイド」を参照してください。

本書に掲載されている画面イメージ上に記載されている名称は、すべて架空のものです。実在する 品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。また、画面イメージ上の設定値は例であり、各設 定値についての動作保証を行うものではありません。

#### ■ 本書中の記号について

本文中では次の種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。

- **重要:** ソフトウェアや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を 示します。
- **チェック:** ソフトウェアや装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。
- **ヒント:** 知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

## 第1章 ExpressUpdate Agentについて

ExpressUpdate Agent は、ESMPRO/ServerManager(Ver5.1 以降)で管理された管理対象装置で動作し、 管理対象装置のファームウェアやソフトウェアなどのモジュールを、ESMPRO/ServerManager(Ver5.1 以降)によってリモートから更新することを可能とするソフトウェアです。

### 第2章 動作環境

ExpressUpdate Agent は管理対象装置にインストールしてください。 ExpressUpdate Agent を動作させることができる環境は以下のとおりです。

#### ■ ハードウェア

ESMPRO/ServerManager(Ver5.1以降)の管理対象装置で、かつ、以下の条件を満たしていることが必要です。

- 管理対象装置
- ・ Express5800 シリーズおよび iStorage NS シリーズ。
- メモリ 512MB 以上
- ハードディスクの空き容量 300MB 以上

#### ■ ソフトウェア

• OS

Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SP1 以降) Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (x64 SP1 以降) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (x64) Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise/ServerCore Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise/ServerCore (x64) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/ServerCore (x64)

Microsoft Windows XP Professional (SP2 以降) Microsoft Windows XP Professional (x64 SP2 以降) Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise (x64) Microsoft Windows 7 Ultimate/Professional/Enterprise Microsoft Windows 7 Ultimate/Professional/Enterprise (x64)

Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86, x64) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86, x64) Red Hat Enterprise Linux Advanced Platform 5 (x86, x64) Red Hat Enterprise Linux Server 5 (x86, x64) Miracle Linux 4.0 – Asianux Inside (x86, x64) Asianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5 (x86, x64)

#### 重要:

以下の環境の場合、ExpressUpdate Agent のインストールをサポートしていません。
 ・Hyper-V など仮想 OS 上でのインストール

.....

- Windows Server 2008 R2 Server Core 環境の場合、Wow6432Node をアンインストール すると、ExpressUpdate Agent を正常にインストールすることができません。 ExpressUpdate Agent をインストールする場合は、Wow6432Node をアンインストー ルしないでください。
- **その他** ExpressUpdate Agent を利用するために、以下のソフトウェアがインストールされます。

・OpenSLP (ExpressUpdate Agent が自動的にインストールします。)

#### チェック:

- ExpressUpdate Agent の新規インストール時に、OpenSLP が既にインストールされて いる場合は、ExpressUpdate Agent をインストールすることができません。OpenSLP をアンインストールしてから実行してください。 但し、Universal RAID Utility Ver 2.10 以上が既にインストールされている場合は、 OpenSLP をアンインストールする必要はありません。
- ExpressUpdate Agent は他の SLP ソフトウェアがインストールされていると、正常に 動作しない可能性があります。ExpressUpdate Agent をインストールする前に、他の SLP ソフトウェアはアンインストールしてください。
- ExpressUpdate Agent の新規インストール時に、Axis2c 環境がインストールされている場合は、ExpressUpdate Agent をインストールすることができません。Axis2c 環境をアンインストールしてから実行してください。
- ExpressUpdate Agent を使ってモジュール管理を行う場合には、管理対象装置の OS によって、以下の ESMPRO/ServerManager が必要となります。
  - < ExpressUpdate Agent (Windows)を使用する場合 >
    - ・ESMPRO/ServerManager (Windows) Ver5.1 以降
    - ・ESMPRO/ServerManager (Liunx) Ver5.1 以降
  - < ExpressUpdate Agent (Linux)を使用する場合 >
    - ・ESMPRO/ServerManager(Windows) Ver5.21 以降
    - ・ESMPRO/ServerManager(Liunx) Ver5.14 以降

ESMPRO/ServerManager の機能に関する詳細については、「ESMPRO/ServerManager Ver5 セットアップガイド」を参照してください。

### 第3章 ExpressUpdate Agentのインストール

### 3.1 ExpressUpdate Agentのインストール(Windows)

ExpressUpdate Agent をインストールする場合について説明します。

#### 3.1.1 インストールを始める前に

ExpressUpdate Agent のインストールを始める前に、以下のことを確認してください。

- ・2章の動作環境を満たしていること。
- ・Administrator 権限で Windows にログインしていること。

#### 3.1.2 インストールメニューの起動

ダウンロードしたモジュールを使ってインストールする場合

ダウンロードしたファイルを展開した後に、以下のファイルを実行してください。ExpressUpdate Agent のインストールが開始されます。

¥eu\_agent¥setup.exe

#### ■ EXPRESSBUILDER を使ってインストールする場合

以下の手順で ExpressUpdate Agent のインストールを実行してください。

- (1) Windows が起動している管理対象装置上で、EXPRESSBUILDER を DVD ドライブにセットして ください。オートラン機能によりメニューが表示されます。
- (2) 「ESMPRO セットアップ」から「関連ユーティリティ」-「ExpressUpdate Agent」をクリックしてください。ExpressUpdate Agent のインストールが開始されます。

#### 3.1.3 ExpressUpdate Agentのインストール

ExpressUpdate Agent をインストールします。

(1) ExpressUpdate Agent のインストーラが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



(2) ExpressUpdate Agent に対する使用許諾を熟読の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

ExpressUpdate Agent 2.00	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	N2
<ul> <li>ペソフトウェアのご使用条件&gt; 日本電気、株式会社(以下「弊社」といいます。)は、本使用条件とともにご提供する ソフトウェア・プログラム(以下「許諾プログラム」といいます。)を、日本国内で 使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただ くものとします。お客様が期待される効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾 プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていた だきます。</li> <li>1.期間 (1)本使用条件は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。 (2)お客様は、1ヶ月以上事前に、弊社宛(弊社の宛先は本書の末尾に記載された ものとします。)書面により通知することにより、いつにても本使用条件によ </li> </ul>	<b>A</b>
<ul> <li>● 使用許諾契約の全条項に同意します(A)</li> <li>○ 使用許諾契約の条項に同意しません(D)</li> </ul>	ED刷( <u>P</u> )
InstallShield	<b>+</b> +>>tul

(3) 更新モジュールに対する使用許諾を熟読の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、 「次へ」ボタンをクリックしてください。

ExpressUpdate Agent 2.00	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	XX
ExpressUpdate機能を利用してソフトウェアまたはファームウェアの更新を実施する場合、 更新モジュールに含まれるソフトウェア・プログラムは以下のご使用条件を事前にご同意 いただいたものとして使用されます。ご同意されない場合は、ExpressUpdate Agentのイ ンストールを中止してください。 しクトウェアのご使用条件】 日本電気株式会社(以下「弊社」といいます。)は、ExpressUpdate機能を利用したソフト ウェアまたはファームウェアの更新を実施する場合、更新モジュールとしてご提供するソ フトウェア・プログラム(以下「許諾プログラム」といいます。)を日本国内で使用する 権利を、下記条項に基づきExpressUpdate Agentのインストール時にお客様に許諾し、 お客様の下記条項にご同意いただくものとします。 お客様が期待される効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、	•
<ul> <li>使用許諾契約の全条項に同意します(A)</li> <li>使用許諾契約の条項に同意しません(D)</li> </ul>	ED局(P)
(更る(B) 次へ(N)>	キャンセル

(4) インストール先のディレクトリを入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

ラストールテロ連択 ファイルをインストールするフォルダを選択します。	
セットアップでは、 ንታのフォルダモ ExpressUpdate Ag	ient をインストールします。
このフォルダへのインストールは、D欠へ]本物ンを切っり	ರಿಕೆತೆಂ
別のフォルタヘヘンストールする場合は、[参照]ボタン	ノをクリックしてフォルダを選択してください。
「インストール先のフォルダ────	
C:¥Program Files¥	参照(円)
allShield	

#### チェック:

 Universal RAID Utility Ver 2.10 以上が既にインストールされている場合は、上記画 面は表示されないため、インストール先を選択することはできません。

#### ヒント:

- 上記画面が表示されない場合は、以下にインストールされることになります。
   <x86の場合>
   <システムドライブ>¥ Program Files¥axis2c¥bin
  - <ッステムトライラ>¥ Program Files¥axis2c¥bin <x64 の場合>
- <システムドライブ>¥ Program Files (x86)¥axis2c¥bin

(5) 設定した内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。

ExpressUpdate Agent 2.00
ファイル コビーの開始
ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。
プログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場合は「戻る] ボタンをクリックします。現在の設定でよい場合は、D次へコボタンをクリックするとファイルのコピーを開始します。
現在の設定
C#Program Files¥
InstallShield
< 戻る( <u>B</u> ) ( <u>次へ (ND</u> )) キャンセル (
<b>重要:</b> • OS の再起動を促す画面が表示された場合は、指示に従い OS を再起動してくださ い。
ヒント:
<ul> <li>インストール完了後、以下の方法で ExpressUpdate Agent が正常にインストールされたかどうかを確認できます。</li> <li>「管理ツール」-「サービス」をクリックし、「eciService」、「ExpressUpdate Agent」、「Service Location Protocol」が開始状態になっていれば、インストールは正常に完了しています。</li> </ul>

### 3.2 ExpressUpdate Agentのアンインストール(Windows)

ExpressUpdate Agent をアンインストールする場合について説明します。

#### 3.2.1 アンインストールを始める前に

ExpressUpdate Agent のアンインストールを始める前に、以下のことを確認してください。 ・Administrator 権限で Windows にログインしていること。

#### 3.2.2 ExpressUpdate Agentのアンインストール

Windows の「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」からアンインストールします。 「ExpressUpdate Agent」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックしてください。表示される指示 に従ってアンインストールしてください。

#### ..... チェック:

OS が Server Core の場合は、インストール時に使用したインストーラを、以下のコマンドをつけて実行することで、アンインストールを実行することができます。
 <実行コマンド>

setup.exe /z"UNINSTALL"

### 3.3 ExpressUpdate Agentのインストール(Linux)

ExpressUpdate Agent をインストールする場合について説明します。

#### 3.3.1 インストールを始める前に

ExpressUpdate Agent のインストールを始める前に、以下のことを確認してください。

・2章の動作環境を満たしていること。

・root ユーザでログインするか、su コマンドなどにより root 権限を得ていること。

#### チェック:

ExpressUpdate Agent インストーラの格納場所は下記の通りです。
 ダウンロードしたモジュールを使ってインストールする場合:/eu\_agent
 EXPRESSBUILDER の場合:
 「EXPRESSBUILDER のリビジョンを示すディレクトリ」/lnx/pp/eu\_agent
 (例:001/lnx/pp/eu\_agent)

### 3.3.2 インストーラのコピーと展開

ExpressUpdate Agent のインストーラ(/eu\_agent ディレクトリに格納されているすべてのファイル及 びディレクトリ)を、管理対象装置の任意のディレクトリにコピーしてください。 以下は/usr/local/bin にコピーする場合の例です。

(1) /usr/local/bin 配下に/ExpressUpdate ディレクトリを作成してください。

mkdir -p /usr/local/bin/ExpressUpdate

- (2) eu\_agent ディレクトリを/usr/local/bin/ExpressUpdate にコピーしてください。
- (3) インストーラをコピーしたディレクトリに移動してください。

cd /usr/local/bin/ExpressUpdate/eu\_agent

(4) インストーラを展開してください。

tar xzvf ExpressUpdateAgent-N.NN-x.tgz ファイル名の「N.NN」で示した部分は、バージョン毎に異なります。

#### 3.3.3 ExpressUpdate Agentのインストール

ExpressUpdate Agent をインストールします。

(1) インストーラを展開したディレクトリに移動してください。

cd /usr/local/bin/ExpressUpdate/eu\_agent/ExpressUpdateAgent-N.NN-x ディレクトリ名の「N.NN」で示した部分は、バージョン毎に異なります。

(2) 以下のシェルファイルを実行してください。

./ExpressUpdateAgent-N.NN-x.sh ファイル名の「N.NN」で示した部分は、バージョン毎に異なります。

- (3) ExpressUpdate Agent のインストール確認が表示されます。「yes」を入力し、Enter キーを押下してください。「no」を入力した場合、インストールはここで終了します。
- (4) 製品の使用許諾契約が表示されます。契約内容を注意深くお読みになり、契約に同意する場合 は「yes」を入力し、Enter キーを押下してください。「no」を入力した場合、インストールはこ こで終了します。
   Everyose Unders A gent は、(opt/pag/gris2) 配下にインストールさわます。

ExpressUpdate Agent は、/opt/nec/axis2c 配下にインストールされます。

インストールが完了すると、以下のメッセージが表示されます。

「ExpressUpdate Agent のインストールが完了しました。」

インストールを完了すると、ExpressUpdate Agent が開始され、いつでも使用できるようになります。

**チェック:** インストール時に使用したファイルは、アンインストール時にも使用しますので、 削除しないでください。
 ・
 ・

#### ヒント:

 インストール完了後、以下のコマンドで ExpressUpdate Agent が正常にインストール されたかどうかを確認できます。
 ps -ef | gerp axis2c

\_\_\_\_\_

上記コマンドの実行結果として、以下がすべて表示されれば、正しくインストール されています。 /opt/nec/axis2c/bin/slpd /opt/nec/axis2c/bin/eciServiceProgram /opt/nec/axis2c/bin/axis2\_http\_server /opt/nec/axis2c/bin/EUAgent

#### 3.4 ExpressUpdate Agentのアンインストール(Linux)

ExpressUpdate Agent をアンインストールする場合について説明します。

#### 3.4.1 アンインストールを始める前に

ExpressUpdate Agent のアンインストールを始める前に、以下のことを確認してください。 ・root ユーザでログインするか、su コマンドなどにより root 権限を得ていること。

#### 3.4.2 ExpressUpdate Agentのアンインストール

ExpressUpdate Agent をアンインストールします。

(1) インストール時に、インストーラを展開したディレクトリに移動してください。

cd /usr/local/bin/ExpressUpdate/eu\_agent/ExpressUpdateAgent-N.NN-x ディレクトリ名の「N.NN」で示した部分は、バージョン毎に異なります。

(2) 以下のシェルファイルを実行してください。

./ExpressUpdateAgent-N.NN-x.sh

ファイル名の「N.NN」で示した部分はバージョン毎に異なります。

- (3) ExpressUpdate Agent のアンインストール確認が表示されます。「delete」を入力し、Enter キーを 押下してください。
- アンインストールが完了すると、以下のメッセージが表示されます。 「ExpressUpdate Agent のアンインストールが完了しました。」

### 第4章 注意事項

#### 4.1 インストールについて

- ExpressUpdate Agent は、現在インストールされているバージョンから古いバージョンへダウン グレードできません。古いバージョンを使用する場合は、一旦アンインストールしてから、再 度インストールしてください。但し、アンインストールすると、それまでの情報はすべて削除 されますのでご注意ください。
- ExpressUpdate Agent (Windows)を CD-ROM 等の媒体上のインストーラを使用してアップグレードするときに、ディスクを要求するメッセージが表示されて、アップグレードできない場合があります。この場合、CD-ROM 等の媒体からハードディスク上にインストーラをコピーしてからアップグレードしてください。
- ExpressUpdate Agent の新規インストール時に、Axis2c 環境がインストールされていないにも関わらず、既存の Axis2c 環境と共存できない旨のメッセージが表示され、インストールできない場合は、以下のようにしてください。

Windows の場合 環境変数「AXIS2C\_HOME」を削除してからインストールを実行してください。 既に削除されている場合は、OS を再起動後インストールを実行してください。

Linux の場合 axis2\_http\_server プロセスが動作している可能性があります。 axis2\_http\_server プロセスを停止してからインストールを実行してください。

### 4.2 OSのIPを変更した場合について

管理対象装置の OS の IP アドレスを変更した場合は、ExpressUpdate Agent が変更後の IP アドレス を認識するために、ExpressUpdate Agent の実行に必要な機能を自動的に再起動し、最新の状態に更 新します。

#### 4.3 Windowsファイアウォールについて

ExpressUpdate Agent は、インストール時に管理対象装置のファイアウォール例外プログラムとして、 以下を自動で登録します。

- axis2\_http\_server
- slpd

ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル

### 4.4 Linuxファイアウォールについて

ExpressUpdate Agent は起動時にファイアウォールに対する設定を行っています。ExpressUpdate Agent 起動後に、ファイアウォールの設定を無効から有効に変更した場合や、セキュリティレベルの設定画面でファイアウォールの設定を変更した場合は、ExpressUpdate Agent のファイアウォール設定が無効になります。

この場合、以下の手順でシェルスクリプトを実行すれば、ExpressUpdate Agent のファイアウォール 設定が再設定されます。

- (1) root ユーザでログインするか、su コマンドなどにより root 権限を得てください。
- (2) シェルスクリプトが存在するディレクトリに移動してください。

cd /opt/nec/axis2c/bin

(3) 以下のシェルスクリプトを実行してください。

./eci\_setport.sh

### 4.5 管理対象装置のサーバマネージメントドライバについて

管理対象装置に EXPRESSSCOPE エンジン/EXPRESSSCOPE エンジン 2 が搭載されているにもかか わらず、BMC ファームウェアの現在のバージョンが「Unknown」と表示されている場合、管理対象 装置にサーバマネージメントドライバがインストールされていない事が考えられます。この場合は BMC ファームウェア更新パッケージの適用を行うことができません。以下の手順に従ってサーバ マネージメントドライバのインストールを行ってください。

Windows の場合 EXPRESSBUILDER のメニューからシステムのアップデートを実行してください。

Linux の場合 以下のサイトから、ご使用の管理対象装置とカーネルバージョンに対応したサーバマネージ メントドライバをダウンロードし、インストールを行ってください。

http://www.express.nec.co.jp/linux/dload/esmpro/index.html

### 4.6 Windowsデータ実行防止機能(DEP)について

ExpressUpdate Agent を使用中に、Windows のデータ実行防止機能(DEP)のために、以下のような ダイアログが表示されることがあります。

データ実行防止 - Microsoft Windows	×	
コンピュータ保護のため、このブログラムは Windows により終了されました。		
名前: axis2_http_server	r	
	設定の変更	
データ実行防止は、ウイルスやその他の脅威に 効にすると、フログラムによっては正しく実行され ンについては、発行元に問い合わせてください。;	よる損害の防止に役立ちます。データ実行防止を有 ない場合もあります。プログラムの更新されたバージョ その他の詳細を表示します。	

この場合、管理対象装置で以下の設定を行って、プログラムを DEP の対象外に設定してください。

- (1) Windows の「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。
- (2) システムのプロパティ「詳細設定」タブ内にある「パフォーマンス」の「設定」ボタンをクリックしてください。

วงรรมดวัตที่ระก <u>?</u> ×
全般   コンピュータ名   ハードウェア 詳細設定   自動更新   リモート
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどの変更はできません。
パフォーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ
ユーザー プロファイル ログオンに関連したデスクトップ設定
起動と回復 システム起動、システム障害、およびデバッグ情報
設定①
環境変数(N) エラー報告(R)
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

(3) パフォーマンスオプションの「データ実行防止」タブ内にある「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」を選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。。

パフォーマンス オブション ? 🗙
悦見効末 詳神語及在 7 2天日的五
データ実行防止 (DEP)は、ウイルスやその他のセキュリティの登録
による損害を防ぐのに役立ちます。詳細を表示します。
○ 重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効にする(T)
<ul> <li>(で)次に選択するのものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を 有効にする(U):</li> </ul>
(追加(①) ) 前時(匠)
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )

(4) 開かれたダイアログから、ExpressUpdate Agent がインストールされているディレクトリに移動し、「EUAgent.exe」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。
 同様のことを、「eciServiceProgram」、「axis2\_http\_server」でも行ってください。

<mark>パフォーマンス オ</mark> 視覚効果 │ 詳		-   	سے <u>ج</u> ام م	? X	
ファイルを開く				? ×	
ファイルの場所型:	🗁 bin		💽 🕝 💋 🖻	••	
AgentFolder EUA_LOGROOT EUA_PKGROOT rampart axis2_http_serve eciInitProcess.e eciServiceProgr	EUAgent.ex EUZipContri RefreshReg rr.exe xe am.exe	olexe istry.exe			
ファイル名( <u>N</u> ):	EUAgent.exe		•	開(⊙)	
ファイルの種類(工):	実行可能なファイル		•	キャンセル	1
	ОК	追加(D)	】 _ 前耶奈(E) ル _ 適用		

(5) 以下のような画面になっていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

パフォーマンス オブション	? X
視覚効果 詳細設定「データ実行防止	1
データ実行防止 (DEP) は、ウイルスやその他のセキュリティの脅な による損害を防ぐのに役立ちます。詳細を表示します。	aŭ ∣
○ 重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効にする(I)	
○ 次に選択するのものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を 有効にする(U):	ž
♥ axis2_http_server ♥ eciServiceProgram.exe ♥ EUAsent	-
<u>注意力口(D)</u> 肖印除余(E)	]
OK キャンセル 適用(4	v I

(6) OS の再起動が要求された場合は、OS を再起動してください。

ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル

#### **Revision History**

1.00	2009/02/04	新規作成
1.01	2009/02/12	Apache Software Foundation の LICENSE 条文を修正
2.00	2009/09/29	誤記修正
		動作環境を修正
		注意事項を追加
		ライセンスファイルの記載を修正
2.10	2009/10/08	ExpressUpdate Agent(Linux)のインストール / アンインストール手順を追加
		ExpressUpdate Agent をダウンロードした場合の手順を追加
		動作環境を追加及び修正
		注意事項を追加及び修正
		ライセンスファイルの記載を修正
		誤記修正

ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル

#### ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル © NEC Corporation 2009